

## 業務委託仕様書

### 1 業務名

大通公園野外コンサートイベント「SAPPORO SOUND SESSION（仮称）」運営業務

### 2 目的

本業務は、さっぽろオータムフェスト 2026 を開催中の大通公園において、PMF、札幌交響楽団（以下「札幌」という。）、サッポロ・シティ・ジャズ（以下「SCJ」という。）による合同音楽イベント「SAPPORO SOUND SESSION（仮称）」（以下、「本イベント」という。）を実施するものである。

本イベントは、宿泊税を原資としてさっぽろオータムフェストの会期中に開催し、各団体の特性を活かした質の高い音楽ステージを創出するとともに、オータムフェストとの相乗効果による賑わい創出や観光客の満足度向上、各出演団体の認知度向上を目指すものである。

については、本イベントを安全かつ効果的に実施するため、民間事業者の柔軟な発想と専門的ノウハウを活用した企画・運営、会場設営、演出、広報及び進行管理業務等を委託する。

### 3 履行期間

契約締結日から令和8年12月31日まで（イベント開催日：令和8年9月18日、19日）

### 4 実施場所

札幌市中央区大通西2丁目 大通公園内

### 5 業務内容

受託者（以下「乙」という）は、本業務に係る企画提案書に基づき、発注者（以下「甲」という）と協議の上、以下の業務を行うこと。なお、仕様書に記載のない事項であっても、本イベントの目的達成に必要と認められる業務については、甲乙協議の上、実施するものとする。

#### (1) 実施計画の策定および進捗管理

本イベントを円滑に実施するための全体計画である実施計画を策定し、甲の承認を得ること。また、定例会議等を通じて進捗状況を管理・共有すること。実施計画には、周辺環境への配慮について盛り込むこと。

- ア 実施計画書（全体スケジュール、実施体制、会場レイアウト、安全管理計画等）の作成
- イ 関係者会議の運営および議事録作成

(2) 関係機関等との調整支援

本イベントの実施に必要な関係機関等との連絡調整を、甲と連携して行うこと。

- ア さっぽろオータムフェスト実行委員会（搬入出動線、会場管理区分等）
- イ 出演団体（ステージ転換、控室、リハーサル、テクニカル要件の調整）

※なお、出演料の交渉および契約、出演時間の確定は甲が行うものとするが、乙は専門的見地からタイムテーブル案等について助言を行うこと。なお、現在想定しているタイムテーブルは別紙1のとおり。

- ウ 関係官公庁等（道路使用、公園使用、消防関連等の事前協議資料、楽曲利用申請等必要な申請書作成および申請代行）

(3) ステージ空間および会場の設計・施工

本イベントの目的（音楽体験による賑わいの創出と滞在満足度の向上）に合致し、かつ大通公園の景観と調和したステージを設営すること。施工にあたっては、公園の芝生・樹木等の保護、養生を徹底すること。

- ア ステージ、屋根等の設計・施工

オーケストラ（最大60名程度）の配置に支障のない有効面積（ステージ上の演者配置スペースとして、幅14.4m、奥行き10.8mを最低限必要なものとする）を確保し、その根拠となるステージ平面図を提案すること。

野外環境における楽器の保護を目的とし、十分な耐風圧性能を有する屋根および雨天時の吹込み防止対策（サイドパネル等）を計画に含めること。

オーケストラ（最大60名規模）等の演奏に支障のない強度を確保すること。

- イ 観覧エリアのゾーニングおよび設営（着座エリア、立ち見エリア、高齢者・障がい者用優先席等の配置）

- ウ 附帯設備の設置（出演者（楽器含む）待機スペース、関係者用電源等）

- エ 備品手配（演奏者用椅子、机、テント用備品等）

※必要最小限な備品及び発注者が用意する備品は別紙2のとおり。ただし、実際の種類・個数等は、契約後に別途協議して定めることとする。

- オ 会場サイン・誘導表示の計画および設置

#### (4) 演出・進行計画の策定および実施

来場者の満足度を高める効果的な演出・進行計画を提案し、実施すること。

- ア 進行台本の作成（照明、MC 等のきっかけを含むもの）
- イ 司会者の手配（音楽イベントでの進行実績がある者が望ましい）
- ウ 舞台監督および必要となるスタッフの配置

※バンド編成からオーケストラ編成への転換（セットチェンジ）を 20 分～30 分程度（想定）で完了させるための効率的な人員配置および動線計画を提案すること。舞台監督は、オーケストラ等のクラシック公演など音楽イベントの進行管理の実績を有する者を配置すること

#### (5) 音響・照明計画の策定および実施

野外環境において、各出演団体の演奏品質を最大限に引き出す技術計画を提案し、音響スタッフにより実施すること。

##### ア 音響計画

オーケストラの繊細な生音を明瞭に拡声できる高品質なシステムを構築すること。また、近隣施設および他会場への音漏れ対策など、周辺環境へ配慮した計画とすること。なお、最低限必要な音響機材は別紙 3 のとおりとする。

##### イ 照明計画

天候や時間帯（夕刻等）を考慮し、演奏者の視認性確保を高める照明計画を策定すること。

#### (6) 広報・プロモーション

本イベントの認知拡大および観光客の誘客を図るための効果的な広報計画を提案し、実施すること。具体的な広報媒体等については、費用対効果を考慮した効率的な提案を行うこと。なお、広報印刷物（フライヤー）については、別途甲により、宿泊施設等に送付することを想定している（当該送付費用は本業務の範囲外とする）ため、A 3 二つ折りで 20,000 部程度のフライヤーの企画・作成について提案に盛り込むこと。

#### (7) 当日運営および安全管理

来場者および出演者の安全を最優先とした運営体制を構築すること。

- ア 運営マニュアルの作成および運営スタッフの配置
- イ 警備計画の策定および警備員の配置

※警備業法に基づく雑踏警備業務検定等の有資格者を適切に配置し、雑踏事故防止、車両誘導、夜間警備等を確実にを行うこと。

ウ 緊急時対応（荒天時、地震、急病人発生時、雨天時の楽器保護等の対応フロー構築）

(8) 調査・効果測定

本事業の成果を検証するための調査計画を提案し、実施すること。

ア 来場者数の計測（属性別の計測手法等を提案すること）

イ 来場者アンケートの実施および分析

(9) 撤去・原状復旧

終了後は速やかに撤去を行い、清掃および原状復旧を徹底すること。

## 6 留意事項

(1) 音響品質の担保

機材およびオペレーターを選定にあたっては、出演団体の要望（テクニカルライダー）を十分に踏まえ、甲の承諾を得ること。

(2) 環境および安全への配慮

公園内の芝生・樹木の保護（養生）、資材の飛散・転倒防止対策を徹底すること。また、近隣への騒音対策に十分配慮すること。

(3) 損害保険への加入

本イベントの実施に伴う不測の事故等に備え、施設賠償責任保険、施設入場者障害保険等の適切な損害保険に加入すること。

(4) 権利処理

成果物等に含まれる著作権、肖像権等の権利処理は、乙の責任において行うこと。

## 7 成果物

以下の成果物を提出すること。

- ・実施計画書
- ・運営マニュアル、警備計画書
- ・各種申請書類の写し一式
- ・業務完了報告書
- ・調査・効果測定結果報告書

- ・記録写真データ（履行検査用）
- ・その他甲が必要と認めるもの

## 8 成果物に係る著作権等の取扱い

乙は、甲に対し、本業務の成果物に関連する著作権（著作権法（昭和45年法律第48号）第27条及び第28条に規定する権利を含む。）を、譲渡するものとする。

乙は、本著作物に関する著作者人格権を、甲又は甲が指定する第三者に対して行使しないものとする。また、本著作物の著作者が乙以外のものであるときは、乙は甲又は甲が指定する第三者に対して、本著作物に関する著作者人格権を行使されないよう適正に措置を講ずるものとする。

乙は、甲に対し、乙が本著作物を創作したこと又は適正な著作権の譲渡を受けていること及び第三者の著作権、著作者人格権及びその他特許権、商標権を含むいかなる知的財産権を侵害するものではないことを保証する。

本著作物の利用について、第三者から権利侵害の訴えその他の紛争が生じたときは、乙は、自己の費用及び責任においてこれを解決するものとし、かつ甲に何らかの損害を与えたときは、その損害を賠償するものとする。

## 9 その他

本仕様書に定めのない事項または疑義が生じた場合は、甲乙協議の上決定する。

業務の履行にあたっては、関係法令および条例等を遵守すること。

不可抗力による中止等の対応については、別途契約書において定める。

## 仕様書別紙1 タイムテーブル案

※時間割は9/18（金）、9/19（土）共通だが、9/19（土）の第3部は、札幌・PMFのコラボステージを予定

時間	内容	備考
12:00	SCJ 準備・リハ	
13:00	オープニング	司会挨拶、トップバッター（SCJ）の紹介
13:05	【第1部】SCJ 演奏	サッポロ・シティ・ジャズ（60分）
14:05	転換・リハーサル① （85分）	<休憩・公開リハ>・SCJ 撤収、PMF セッティング （30分）・PMF 音出し・サウンドチェック（40分） ・本番前待機・司会アナウンス（20分）
15:30	【第2部】PMF 演奏	PMF 修了生アンサンブル（60分）
16:30	転換・リハーサル② （90分）	<休憩・公開リハ>・PMF 撤収、札幌セッティング （30分）・札幌 音出し・サウンドチェック（40分） ・本番前待機・司会アナウンス（20分）
18:00	【第3部】札幌 演奏	札幌交響楽団（60分）
19:00	エンディング	全編終了、司会挨拶
19:05	撤収開始	ゴミ回収、機材搬出、規制退場案内

仕様書別紙2 最低限必要な備品一覧		
1 受注者が最低限用意する備品		
品目	数量	詳細仕様・希望品番など
舞台用リノリウム	一式	ステージ床面の素材による。チェロ等楽器を床に固定して演奏するため、滑らないようにするため
仮設ひな壇	一式	
台組ケコミベニヤおよび階段設営	一式	上記、ひな壇のサイズによる
演奏者・控室用椅子（スタッキングチェア）	80	座面フラット、キャスター・肘かけの付いていない椅子
チェロ椅子	5	背もたれ付き高低調節可能椅子（背付きピアノ椅子）。最大人数分（札響）必要
コントラバス椅子	5	高低調節可能椅子／フットレスト付き。最大人数分（札響）必要
机	複数	ステージ近くまで、ケースに入れた状態で楽器を運ぶので、控室テント内に、楽器をケースから取り出す時の作業机を複数台設置
姿見鏡	複数	控室テント用
※発注時点で、必要最低限必要なものを記載。実際の備品・個数等は、契約後に別途協議して定めることとする。		
2 発注者が用意する（本業務に含まない）備品		
品目	数量	詳細仕様・希望品番など
譜面台（折り畳み／ウイットナー）	60	
譜面台（松尾製／Kitaraと同種）	10	
譜面台（指揮者用）	1	
指揮台	1	
背付きピアノ椅子	5	

仕様書別紙3 最低限必要な音響機材

カテゴリ	項目	要求区分 (必須/提案)	仕様・要求水準 (最低基準)
メイン音響設備	PAスピーカー、ミキサー、マイク類一式	提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外でのフルオーケストラ、アンサンブル、ジャズバンドの演奏を、会場へ高音質かつ均一に拡声できるシステムを構築すること。</li> <li>・機材のメーカー、型番、数量等については、受託者の専門的ノウハウに基づく最適な構成を提案に含めること。</li> </ul>
モニター設備	モニタースピーカー等	提案	40～60名規模のオーケストラ奏者、アンサンブル、ジャズバンドメンバーが、自身の演奏および周囲の音を把握するために適切なモニター環境を提案すること。
バックライン設備 (楽器)	ギターアンプ	必須	120Wクラス、プロユースのトランジスタコンボアンプ。フットスイッチ付属。(参考: Roland JC-120 等) × 1台
バックライン設備 (楽器)	ベースアンプ	必須	400Wクラス以上の出力を持つヘッドアンプ、および対応するスピーカーキャビネット。(参考: SWR SM900 + GOLIATH III 等) × 1式
バックライン設備 (楽器)	エレキトリックピアノ	必須	88鍵仕様。専用スタンド、サスティンペダル付属。(参考: YAMAHA CP88 等) × 1台
バックライン設備 (楽器)	ドラムセット	必須	標準的な構成 (バスドラム、タム、フロアタム、スネア、シンバル類一式、ハードウェア、スローン) を揃えること。(参考: YAMAHA YD9000シリーズ 等) × 1式
電源・ケーブル類	仮設電源、ケーブル類一式	必須	上記システムを安全かつノイズレスに駆動するための仮設電源設備、およびスピーカー・マイク配線に必要な一切のケーブル・部材を不足なく用意すること。
周辺機器・その他	各種スタンド	必須	楽器用 (ギタースタンド、ベーススタンド等) など、演奏に必要な各種スタンドを、運用に支障のないよう適切かつ不足なく用意すること。